

# 13 筑波学園病院

## 病院の概要

- 開設** | 1975年7月
- 開設者** | 一般財団法人 筑波薺仁会
- 院長名** | 原田 繁
- 病床数** | 331床
- 標榜科 (24科)** | 内科、神経内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、心療内科、小児科、外科、肛門科、形成外科、脳神経外科、心血管外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリ科、歯科口腔外科、放射線科、麻酔科、リウマチ膠原病内科
- 医師数** | 57人 (常勤)
- 指導医数** | 27人 (7年目以上: 46人)
- 研修医数** | 9名 (協力型病院研修医含む)
- 研修医の主な出身大学** | 筑波大学、熊本大学、札幌医科大学、中国福建医科大学
- 外来患者数** | 893人/日
- 入院患者数** | 255人/日

## 募集要項

- 応募資格** | 2021年3月国家試験合格見込者
- 採用人数** | 2人 (予定)
- 試験日程** | 2020年8月頃 (予定)
- 選考方法** | 面接、小論文
- 処遇**
  - 身分: 医員 (研修医)
  - 給与: 1年次 331,500円  
2年次 341,900円  
賞与あり
  - 社会保険: 有り ■ 宿舎: 有り (単身者用)

## 病院見学対応状況

- 見学時間…随時 (平日)
- 対象…全学年
- 宿泊…近隣の宿泊施設を紹介
- 問い合わせ先  
担当者: 人事部 市野  
TEL: 029-836-1286 (内線 2341)  
E-mail: kei-kikaku@gakuen-hospital.or.jp



## 応募・問合せ先

### 筑波学園病院

〒305-0854 茨城県つくば市上横場 2573-1  
 担当者: 人事部 市野  
 TEL: 029-836-1286 (直通 2341)  
 FAX: 029-836-1918  
 E-mail: kei-kikaku@gakuen-hospital.or.jp  
 URL: http://www.gakuen-hospital.or.jp



- つくばエクスプレス: みどりの駅より農林団地中央行 (農林団地循環) 谷田部車庫下車 つくば駅 (つくばセンター) より牛久駅西口行 谷田部車庫下車
- JR常磐線: 土浦駅より水海道駅行 筑波学園病院前下車 または谷田部車庫行 谷田部車庫下車 牛久駅より谷田部車庫行 谷田部車庫下車
- 関東鉄道常総線: 水海道駅より土浦駅行 筑波学園病院前下車
- 筑波大学より: 牛久駅西口行 谷田部車庫下車
- コミュニティバス: つくば南部シャトル NO3 谷田部車庫下車
- 常磐道: 谷田部インターより 約10分 桜土浦インターより 約15分
- 圏央道: つくば中央インターより 約10分

## 女性医師支援

### 妊婦・出産・育児のための支援制度

- ・ 育児短時間制度
- ・ 院内保育所の設置
- ・ 育児休業
- ・ 短時間正職員制度
- ・ 産前産後休暇
- ・ 出産祝金

## 研修プログラムの特色

1年次においては基本研修をしっかりと学び、2年次において自由選択研修を行う。特に2年次に関しては自由選択研修において多様な各科プログラムを選択でき、希望によりスーパーローテイトができる。また、地域医療においては同法人内施設による在宅医療の研修や、周辺地域の開業医での研修など研修医の希望に応じて研修が実施できる。

## 研修スケジュール例

週数	1~25	26~38	39~43	44~48	49~52
1年次	内科		救急部門 (麻酔科含む)	外科	小児科 産婦人科
週数	53~56	57~60	61~104		
2年次	一般外来 (並行研修)	精神科	選択科		

備考: ●CPCは当院にて実施。  
 ●選択科目  
 【当院内で可能な診療科】腎臓内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、外科 (乳腺内分泌外科、形成外科含む)、整形外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科  
 【当院外での研修】代謝内科、血液内科、神経内科、脳神経外科、心血管外科、放射線科  
 ●救急当直は研修期間の2年間を通して行う。 約4回/月

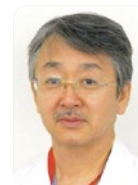
## 専門研修の募集について

専門研修については、筑波大学の専門研修連携施設としてプログラムに参加しています。詳細については各プログラムを参照してください。

## 研修・認定施設一覧

- ・ 日本腎臓学会研修施設
- ・ 日本呼吸器学会認定施設
- ・ 日本透析医学会認定施設
- ・ 日本老年医学会研修施設
- ・ 日本消化器病学会関連施設
- ・ 日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設
- ・ 日本小児科学会小児科専門医研修施設
- ・ 日本麻酔学会麻酔科認定施設
- ・ 日本外科学会外科専門医制度修練指定施設
- ・ 日本乳癌学会乳腺専門医関連施設
- ・ 日本整形外科学会整形外科専門医研修施設
- ・ 日本泌尿器科学会泌尿器専門医拠点教育施設
- ・ 日本産婦人科学会卒後研修指導施設
- ・ 日本耳鼻咽喉科学会耳鼻咽喉科専門医研修施設
- ・ 日本眼科学会眼科専門医制度研修施設
- ・ 日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働施設
- ・ 日本内科学会認定医教育関連病院
- ・ 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・ 日本内分泌外科学会・日本甲状腺外科学会専門医認定 (関連) 施設
- ・ 生殖医療専門医制度認定研修施設
- ・ 日本消化器外科学会認定専門医修練施設
- ・ 日本消化器内視鏡学会指導施設
- ・ 日本胆道学会指導施設

## 病院からメッセージ



**研修責任者**  
 齋藤 重行 副病院長

当院における臨床研修の特徴は、病院の規模を生かしたきめ細やかな指導にあると言えます。2次救急病院として、一般的な疾患をもつ患者が多く、初期研修医として適切な症例が経験できます。指導医の多くは各分野の専門医であり臨床研修に優れていると自負しております。当院を経験した、誇れる先輩医師が筑波大学を始め多数おられますので後期研修先にも継続して発展できます。当院研修システムは、基本を主に経験した後、将来進むであろう専門医に必要なと思われる診療科を選択して学ぶことができます。病院をあげて初期研修医を歓迎いたします。ぜひ、見学にいらしてください。



**研修医**  
 安藤 高志

いい研修先はどこか?指導医とか色々な因子はありますが、やはり患者さんから教わるのが一番多く、多くの患者を自分で診るのが一番だと思います。そんな視点から Comondisease が多く、しかも他の研修医がほとんどいない病院を選びましょう。うちは300床規模の小さな病院なので、病院中の指導医が知り合いという状態です。簡単に言うと症例と指導医の独占です。1ヶ月や数ヶ月のローテーションで経験できる症例はかぎられていますし、別の科に移っても経験しておくべき症例がいた場合、前の科の指導医に声をかけてもらえ、一緒に関わることができます。こういう部分は市中病院であるからこそできる良さだと思います。